

入札説明書

この入札説明書は、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号。以下「政令」という。）、鳥取県会計規則（昭和39年鳥取県規則第11号。以下「会計規則」という。）及び本件公告に定めるもののほか、本件調達に係る入札及び契約に関し、入札者が熟知し、かつ、遵守しなければならない一般的事項を明らかにするものである。

1 調達内容

(1) 業務の名称及び数量

新型コロナ安心対策認証店特別応援キャンペーン運営業務 一式

(2) 業務の仕様

別添新型コロナ安心対策認証店特別応援キャンペーン運営業務仕様書（以下「仕様書」という。）のとおり

(3) 業務の期間

契約締結日から令和4年3月22日（火）まで

2 入札参加資格

本件入札に参加する資格を有する者は、次に掲げる要件を全て満たす者とする。

(1) 政令第167条の4の規定に該当しない者であること。

(2) 平成30年鳥取県告示第519号（物品等の売買、修理等及び役務の提供に係る調達契約の競争入札参加者の資格審査の申請手続等について）に基づく競争入札参加資格（以下「競争入札参加資格」という。）を有するとともに、その業種区分がイベント・広告・企画のイベント企画・運営に登録されている者であること。

(3) 本件調達の公告日から開札日（再度入札を行う場合にあつては、再度入札の開札日）までの間のいずれの日においても、鳥取県指名競争入札参加資格者指名停止措置要綱（平成7年7月17日付出第157号）第3条第1項の規定による指名停止措置を受けていない者であること。

(4) 本件調達の公告日から開札日（再度入札を行う場合にあつては、再度入札の開札日）までの間のいずれの日においても、会社更生法（平成14年法律第154号）の規定による更生手続開始の申立てが行われた者又は民事再生法（平成11年法律第225号）の規定による再生手続開始の申立てが行われた者でないこと。

(5) 鳥取県内に本店、支店、営業所又はその他の事業所（以下「県内事業所」という。）を有していること。ただし、県内事業所に従業員が常駐していることが確認できる場合に限る。

3 契約担当部局

鳥取県商工労働部兼農林水産部市場開拓局販路拡大・輸出促進課

4 配布資料

- ・仕様書
- ・入札参加確認書 (様式第1号)
- ・質問書 (様式第2号)
- ・委任状 (様式第3号)
- ・入札書 (様式第4号)
- ・契約保証金免除申請書 (様式第5号)

5 入札手続等

- (1) 入札の手續及び業務の仕様に関する担当部局
〒680-8570 鳥取県鳥取市東町一丁目 220
鳥取県商工労働部兼農林水産部市場開拓局販路拡大・輸出促進課
電話 0857-26-7767
電子メール hanro-yusyutsu@pref.tottori.lg.jp
 - (2) 入札説明書等の交付方法
令和3年9月14日(火)から同月21日(火)までの間にインターネットの鳥取県販路拡大・輸出促進課ホームページ (<https://www.pref.tottori.lg.jp/299418.htm>) から入手すること。
ただし、これにより難い者には、次により直接交付する。
 - ア 交付期間及び交付時間
令和3年9月14日(火)から同月21日(火)までの日(日曜日、土曜日及び国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日を除く。)の午前9時から午後5時までとする。ただし、交付期間最終日は正午までとする。
 - イ 交付場所
(1)に同じ
 - (3) 郵便等による入札
可とする。ただし、書留郵便(親展と明記すること。)又は民間事業者による信書の送達に関する法律(平成14年法律第99号)第2条第6項に規定する一般信書便事業者若しくは同条第9項に規定する特定信書便事業者の提供する同条第2項に規定する信書便の役務のうち書留郵便に準ずるもの(親展と明記すること。)により(1)の場所に送付すること。
 - (4) 入札及び開札の日時及び場所
 - ア 入札日時
令和3年9月28日(火)午前9時即時開札(ただし、郵便等による入札書の受領期限は、同月27日(月)午後5時までとする。)
 - イ 場所
鳥取県本庁舎4階 農林水産部協議室
なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、入札参加者等の立ち会いは認めない。
 - (5) 入札結果の通知
入札結果については、令和3年9月29日(水)までに入札参加者に通知する。
- 6 専属的合意管轄裁判所
この調達に関する訴えについては、鳥取県鳥取市を管轄する裁判所を専属的合意管轄裁判所とする。
- 7 入札に関する問合せの取扱い
- (1) 疑義の受付
本件入札に関しての質問は、質問書(様式第2号)を作成し、電子メールにより5の(1)の場所に令和3年9月16日(木)正午までに提出することとし、原則として訪問、電話又はファクシミリによる質問は受け付けないものとする。
 - (2) 疑義に対する回答
(1)の質問については、令和3年9月17日(金)までにインターネットの鳥取県販路拡大・輸出促進課ホームページ (<https://www.pref.tottori.lg.jp/299418.htm>) によりまとめて閲覧に供する。
- 8 入札参加者に要求される事項
- (1) 入札書は、件名及び入札者名を記入し、「入札書」と明記した封筒に入れ、密封して提出しな

なければならない。

- (2) 本件入札に参加を希望する者にあつては、9の事前提出物を作成の上、令和3年9月21日（火）正午までに郵送（必着）又は持参により5の（1）の場所に提出すること。

なお、郵送による場合は、簡易書留（親展と明記すること。）又は民間事業者による信書の送達に関する法律（平成14年法律第99号）第2条第6項に規定する一般信書便事業者若しくは同条第9項に規定する特定信書便事業者の提供する同条第2項に規定する信書便の役務のうち簡易書留に準ずるもの（親展と明記すること。）によること。

- (3) 入札者は、（2）の書類に関して説明を求められた場合は、それに応じなければならない。
(4) 事前提出物の作成及び提出に係る費用は、提出者の負担とする。
(5) 提出された事前提出物は返却しない。
また、提出した者に無断で本件入札事務以外の用途には使用しない。

9 事前提出物

事前提出物は次のとおりとし、提出部数は各1部とする。

- (1) 入札参加資格確認書（様式第1号）
(2) 2の（5）を証するもの（法人県民税及び法人事業税に係る課税標準の分割に関する明細書（その1）の写し（地方税法施行規則（昭和29年総理府令第28号）第10号様式））等（競争入札参加資格者名簿に県内事業所の登録がされていない者に限る。）

10 入札参加資格の審査について

- (1) 8の（2）により提出のあった書類を審査の上、入札参加資格の有無を確認し、その結果を令和3年9月22日（水）までに通知する。
(2) （1）の審査により入札参加資格がないと認められた者は、鳥取県知事に対し、入札参加資格がないとした理由について、令和3年9月24日（金）正午までに書面（様式は自由）により説明を求めることができる。
(3) （2）により説明を求められた場合、鳥取県知事は、説明を求めた者に対して令和3年9月27日（月）までに書面により回答する。

11 入札条件

- (1) 入札は、紙入札による。
(2) 入札書（様式第4号）を使用すること。
(3) 入札書に記載する金額は、契約申込金額（課税事業者にあつては、消費税及び地方消費税の額を含めた金額）とする（消費税不課税、非課税のものを除く。）。併せて、課税事業者にあつては、内訳に消費税及び地方消費税の額を記載すること。
(4) 入札金額は、委託業務に係る費用の総額であり、入札書の入札金額の内訳に業務ごとの費用を記載した上で合計した金額とすること。
なお、入札書の入札金額の内訳に記載する費用は、消費税及び地方消費税を含めた金額とすること。併せて、様式第4号（注）1のとおり、記載した金額に含まれている消費税及び地方消費税の額を（ ）に記載すること。
(5) 入札者は、いったん提出した入札書の書換え、引換え又は撤回をすることはできない。
(6) 入札者は、入札書提出までは、いつでも入札を辞退することができる。その場合、入札辞退届を持参又は郵便等の方法により提出すること。
(7) 代理人をして入札させようとするときは、入札を行うまでに委任状（様式第3号）を5（1）の場所に提出しなければならない。ただし、あらかじめ年間委任状を提出している場合は、この限りではない。
(8) 入札書の宛名は「鳥取県知事 平井 伸治」とすること。

- (9) 再度入札は2回とする。(初度入札と併せて3回とする。)
- (10) 再度入札において、前回の最低入札金額以上の入札金額を提出した者は失格とし、不落札でさらに再度入札を行う場合、次回以降の入札には参加させないものとする。また2回目以降の入札に参加する場合は、各封筒に何回目の入札分であるかを明記の上、封入して、提出すること。
- (11) 郵送による場合で再度入札を希望する場合は、「入札書1回目」、「入札書2回目」及び「入札書3回目」と明記した封書に、「1回目」、「2回目」及び「3回目」を明記した入札書をそれぞれ入れ、密封して提出すること。
なお、第2回目以降の入札書の送付がない場合は、当該再度入札は辞退したものとみなす。また回数に記載されていない場合は、1案件に対し入札書を2通以上提出した入札として、無効とする。
- (12) 入札者は、入札書の記載内容を抹消し、訂正し、又は挿入するときは、当該箇所に押印しなければならない。ただし、入札金額は、訂正できない。
- (13) 入札者は、政令、会計規則、本件公告、仕様書及び入札説明書を熟知の上、入札すること。
- (14) 入札後、本件公告、仕様書、この入札説明書等の不知又は不明を理由として、異議を申し立てることはできない。

12 入札保証金及び契約保証金

- (1) 入札保証金
入札保証金は免除する。
- (2) 契約保証金
落札者は、契約保証金として契約金額の100分の10以上の金額を納付しなければならない。この場合において、会計規則第113条第1項に定める担保の提供をもって契約保証金の納付に代えることができる。
なお、会計規則第112条第4項の規定により、契約保証金の全部又は一部を免除する場合がある。

13 入札の無効条件

- 次に掲げる入札は無効とする。
- (1) 本件公告に示した入札参加資格のない者のした入札
 - (2) 入札者に求められる義務を履行しなかった者の入札
 - (3) 入札に関する行為を代理人に行わせようとする場合(代表者以外の者が入札を行うとき)において入札を行うまでに委任状(様式第3号)を5の(1)の場所に提出していない入札。ただし、年間委任状を提出している場合は、この限りではない。
 - (4) 入札に際し、不正の行為があった者のした入札
 - (5) 他の入札者の代理人を兼ねた者又は2人以上の入札者の代理をした者の入札
 - (6) 1案件に対し、入札書を2通以上提出した入札
 - (7) 政令、会計規則、本件公告、この入札説明書又はその他入札条件に違反した入札
 - (8) 記名のない入札書による入札
 - (9) 入札書を鉛筆で記載した入札
 - (10) 入札書の金額、氏名その他入札に関する要件を欠き、又は重要な文字を誤脱し、若しくは記載内容を確認しがたい入札書による入札
 - (11) 入札書の入札金額の内訳の合計金額と入札金額が一致していない入札

14 落札者の決定方法

本件公告に示した業務を履行できると判断した入札者であって、会計規則第127条の規定に基づいて作成された予定価格の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った者を、落札者という。

15 契約書作成の要否
要

16 手続における交渉の有無
無

17 その他

- (1) 入札終了後、落札者が免税事業者である場合は、消費税及び地方消費税に係る免税事業者届出書を提出すること。
- (2) 開札前に天災その他やむを得ない理由が生じたとき、又は入札に関し不正の行為があり、若しくは競争の意思がないと認めるときは、入札の執行を中止し、又は取りやめることがある。
- (3) 本件入札参加資格確認に係る事項及び提出された資料の内容について後日事実と反することが判明した場合は、契約を解除する場合がある。
- (4) 契約の相手方（以下「受注者」という。）が次に掲げる事項のいずれかに該当するときは、契約を解除することができる旨契約書に記載するものとする。

なお、受注者が次に掲げる事項のいずれかに該当することを理由に発注者が契約を解除するときは、受注者は違約金として契約金額の 10 分の 1 に相当する金額を発注者に支払わなければならない。

また、受注者が次に掲げる事項のいずれかに該当するかどうかを鳥取県警察本部に照会する場合がある。

ア 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号）第 2 条第 2 号に規定する暴力団（以下「暴力団」という。）又は暴力団の構成員（以下「暴力団員」という。）であると認められるとき。

イ 次に掲げる行為の相手方が暴力団又は暴力団員であることを知りながら当該行為を行ったと認められるとき。

(ア) 暴力団員を役員等（受注者が法人の場合にあつてはその役員及び経営に事実上参加している者を、受注者が任意の団体にあつてはその代表者及び経営に事実上参加している者をいい、非常勤を含むものとする。以下同じ。）とすることその他暴力団又は暴力団員を経営に関与させること。

(イ) 暴力団員を雇用すること。

(ウ) 暴力団又は暴力団員を代理、あっせん、仲介、交渉等のために使用すること。

(エ) いかなる名義をもってするかを問わず、暴力団又は暴力団員に対して、金銭、物品その他財産上の利益を与えること。

(オ) 暴力団又は暴力団員を問題の解決等のために利用すること。

(カ) 役員等が暴力団又は暴力団員と密接な交際をすること。

(キ) 暴力団若しくは暴力団員であること又は（ア）から（カ）までに掲げる行為を行うものであると知りながら、その者に物品の製造、仕入れ、納入その他業務を下請等させること。

(5) 再委託の制限

受注者は、業務の一部を再委託することができるが、その場合は、再委託の業務内容、再委託先の体制、責任者をあらかじめ書面により報告し、発注者の了承を得なければならない。

(6) 12 の（2）の契約保証金の免除を希望する落札者は、落札の通知を受けたら直ちに契約保証金免除申請書（様式第 5 号）を、5 の（1）の場所に提出すること。

(7) 鳥取県議会令和 3 年 9 月定例会において本件業務に係る予算が成立しなかった場合は、開札を行わない。ただし、予算の成立が開札日時以降となる場合には、成立前に開札は行すが、予算が成立しなかった場合は、落札決定を行わないものとする。